

協創ルーブリック

「協創グローバルイノベーションリーダー(以下、協創GIL)」は、日々の生活の中で自らを高めながら地域や社会で実践して、自分が生かされていることへの感謝の気持ちを伝えられる者たちである。本校では、生徒たちが協創GILへ育っていくために、下の4つの力を伸ばすこととした。

協創GILになるためには、まず何よりも日常的な課題解決をすべての実践の基礎としながら、いまの自分を知り、なりたい自分へ近づけていくことが必要である。さらに、自分だけでなく身近な人たちを慮り、同じ目標へ共に歩んでいく姿勢を貫くことも求められている。そうすることで、自らの実践を地域や社会へ広げていき、やがて地域や社会から求められる存在になっていけると信じている。

4つの力		LV.1	LV.2	LV.3	LV.4	LV.5
01 課題解決する力	ふだんのくらしの中にある様々な課題に気付く、その課題を解決するために必要な力	ふだんのくらしの中で問題に気付く、課題を設定することができる。	ふだんのくらしの中で課題を明らかにし、課題解決のために計画を立てることができる。	課題解決のための計画を具体的に考えて実行に移すことができる。	課題解決の中で苦手なことがあっても、臨機応変に取り組み続けることができる。	新たな課題を解決するために自分から積極的に挑むことができる。
02 協創する力	周りの人たちを配慮しながら、周りの人たちと共に同じ目標へ向かうために必要な力	周りの人たちの表情や言動に気を配り、相手の意見を尊重することができる。	周りの人たちの喜びにつながるようなことを考えて行動することができる。	周りの人たちと共に目指す目標を共有して取り組むことができる。	周りの人たちが納得できる言葉を発しながら、自らの判断で行動することができる。	お互いの弱みを補い強みを生かしながら、お互いで成長し合うことができる。
03 社会参画する力	身近な地域から国際社会に到るまで他者たちと様々な課題解決をするために必要な力	身近な地域や社会全体に目を向けて、そこにある課題を発見することができる。	身近な地域や社会全体の課題解決のために自分たちのできる具体的な解決策を見出し、提案することができる。	身近な地域や社会全体の課題解決のために自分たちの知識や技術を生かして実行へ移すことができる。	身近な地域から国際社会の課題解決のために、必要に応じて周りの人たちを巻き込むことができる。	さらなる課題解決に必要な新しい知識や技術を発信することができる。
04 自己実現する力	いまの自分を見つめ、これからなりたい自分をはっきりと描き、実現へ向かうために必要な力	自分自身の強み・弱み、得意・不得意、好き・嫌いを把握し表現できる。	なりたい自分のイメージを表現し、思い切り挑戦することができる。	なりたい自分になるために必要な知識を挙げ、無理だと決めつけずに挑戦することができる。	なりたい自分になるため、自分自身を振り返り、必要な準備や改善をすることができる。	まわりに流されることなく、自分にとってのチャンスをつかみ取ることができる。